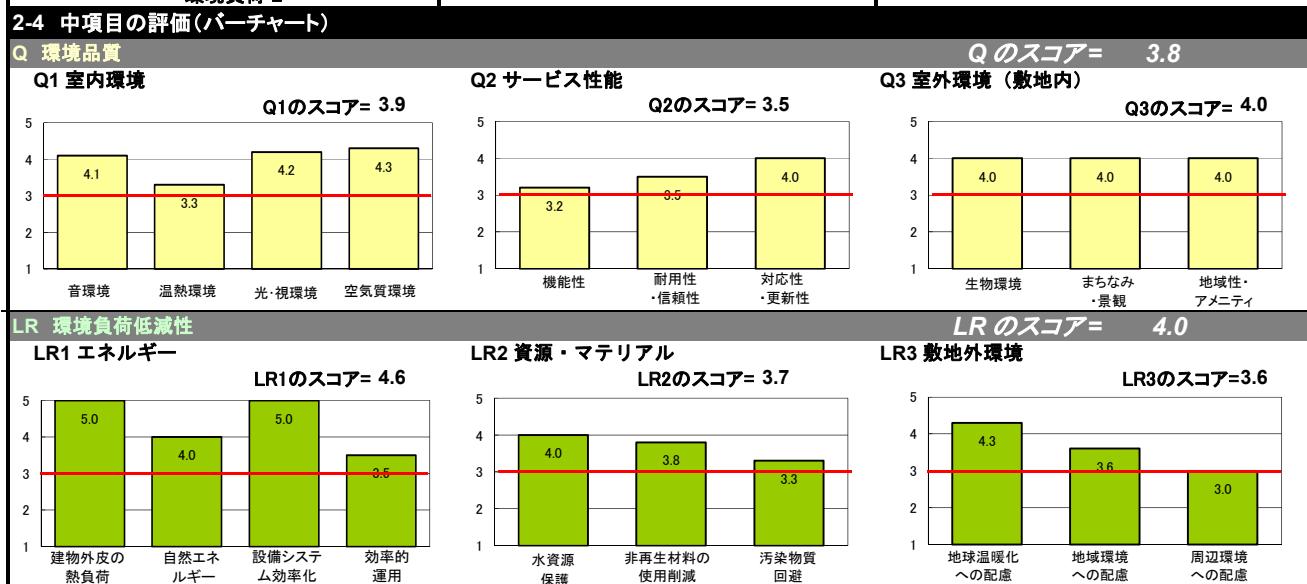
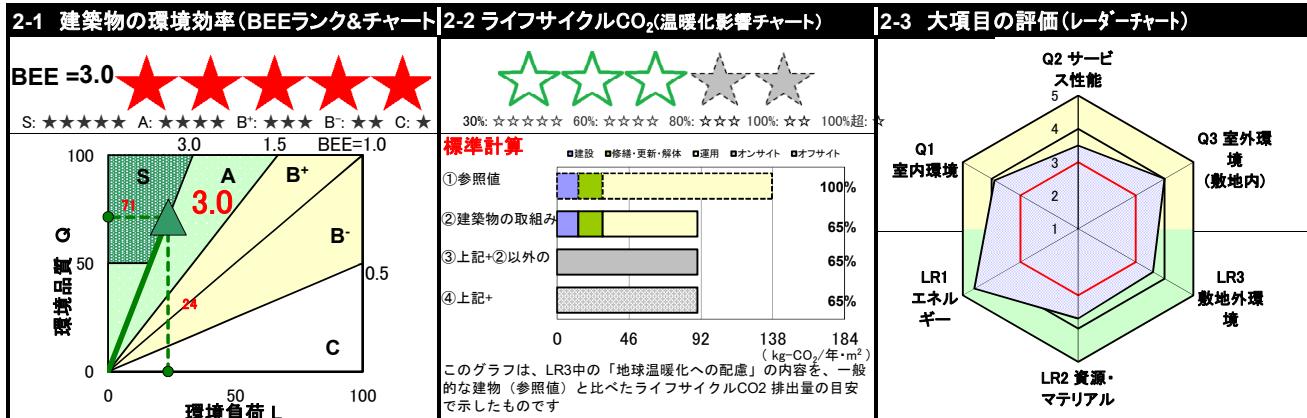




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Bosch Fusion Project	階数	地上7F、地下2F
建設地	横浜市都筑区中川中央一丁目9番1、2	構造	S造
用途地域	防火地域、商業地域	平均居住人員	2,218 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,214 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、集会所、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 竣工	評価の実施日	2024年7月11日
敷地面積	12,038 m ²	作成者	吉田 徹
建築面積	8,190 m ²	確認日	2024年7月11日
延床面積	58,667 m ²	確認者	藤澤寛久





4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)Bosch Fusion Project

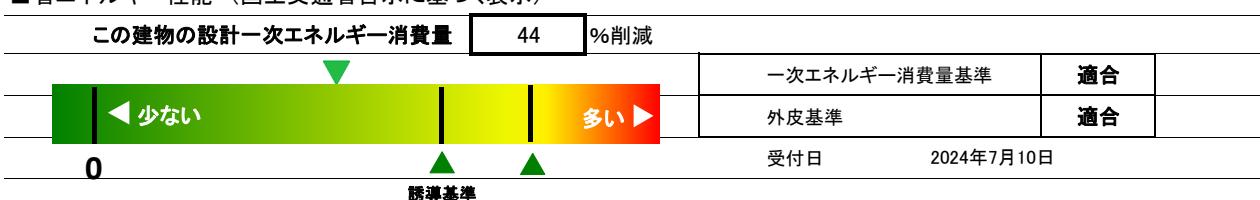
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

断熱性能の高い外皮材料を使用

主要な用途別エネルギー消費内訳を把握できる

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

4

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

アメダス気象データを用いて卓越風を把握。昼光率: 2.5%以上。

窓面積を多くし、快適な室温が実現できる計画。35m²/人以上の換気量を確保

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

リフレッシュスペース÷執務スペース: 1%以上

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

屋上への積極的な建物緑化により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

4

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

免震装置を採用

耐用年数の長い外装仕上げ材を使用

節水機器の採用、非常時用汚水槽の設置等

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

4

■室外環境(敷地内)対策 (⑮生物環境 ⑯まちなみ・景観 ⑰地域性への配慮)

敷地とその周辺の生物環境の立地特性を把握

周辺の街並みとの調和に配慮し、ボリュームの分節や目立ちすぎず品位を感じさせる外装などの計画

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)



太陽光利用

エネルギー・マネジメントシステム導入



スコアシート	実施設計段階	重点項目	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>					
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境							
1 音環境			4.1	0.15	-	-	4.1
1.1 騒音			3.7	0.40	-	-	
1.2 遮音			5.0	0.40	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能			5.0	0.64	-	-	
1.2.2 界壁遮音性能			5.0	0.36	-	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	
1.3 吸音			3.1	0.20	-	-	
2 溫熱環境			3.3	0.35	-	-	3.3
2.1 室温制御			3.8	0.50	-	-	
2.1.1 室温		快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	5.0	0.25	-	-	
2.1.3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.9	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.2	0.20	-	-	
2.3 空調方式		快適・働きやすさ ⑨温熱環境	2.8	0.30	-	-	
3 光・視環境			4.2	0.25	-	-	4.2
3.1 昼光利用			4.5	0.31	-	-	
3.1.1 昼光率		快適・働きやすさ ⑩光環境	5.0	0.59	-	-	
3.1.2 方位別開口		快適・働きやすさ ⑩光環境	-	0.41	-	-	
3.1.3 昼光利用設備		快適・働きやすさ ⑩光環境	4.0	0.27	-	-	
3.2 グレア対策			4.0	0.27	-	-	
3.2.1 昼光制御		快適・働きやすさ ⑩光環境	4.0	1.00	-	-	
3.3 照度		快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		快適・働きやすさ ⑩光環境	4.8	0.27	-	-	
4 空気質環境			4.3	0.25	-	-	4.3
4.1 発生源対策			4.9	0.50	-	-	
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	4.9	1.00	-	-	
4.2 換気			3.7	0.30	-	-	
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	5.0	0.33	-	-	
4.2.2 自然換気性能		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.1	0.33	-	-	
4.3 運用管理			4.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	
4.3.2 嘸煙の制御		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.5
1 機能性			3.2	0.40	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ			2.4	0.40	-	-	
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.29	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.29	-	-	
1.1.3 パリアフリー計画		快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.41	-	-	
1.2 心理性・快適性			4.1	0.30	-	-	
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.30	-	-	
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.29	-	-	
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ ⑫機能性	5.0	0.41	-	-	
1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.5	0.30	-	-	3.5
2.1 耐震・免震			3.4	0.50	-	-	
2.1.1 耐震性		防災 ⑯耐震・免震	3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		防災 ⑯耐震・免震	5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.8	0.30	-	-	
2.2.1 軸体材料の耐用年数		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			3.6	0.20	-	-	
2.4.1 空調・換気設備		防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備		防災 ⑰信頼性	4.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備		防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法		防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備		防災 ⑰信頼性	5.0	0.20	-	-	



スコアシート	実施設計段階	重点項目		建物全体・共用部分 評価点	住居・宿泊部分 評価点	全体 重み 係数
		<非住宅>	<集合住宅>			
配慮項目						
3 対応性・更新性				4.0	0.30	-
3.1 空間の中とり				4.5	0.30	-
1 階高の中とり				5.0	0.54	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.46	-
3.2 荷重の中とり				4.0	0.30	-
3.3 設備の更新性				3.6	0.40	-
1 空調配管の更新性				4.0	0.20	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-
3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-
4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.32	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑯生物環境の保全と創出	4.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑯まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑰地域性への配慮	4.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑯敷地内温熱環境の向上	4.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-
4.1 玄二タリング	省エネルギー性能	④効率的運用	4.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-
4.1 玄二タリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			4.0	0.20	-	-
1.1 節水			4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			4.0	0.70	-	-
2 雜排水等利用システム導入の有無			4.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-
2.1 材料使用量の削減			5.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-
1 消火剤			-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			4.3	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			4.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-
3.1 駆音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 駆音			3.0	1.00	-	-
2 振動			-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-
2 墓光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-



スコアシート	実施設計段階	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
配慮項目			-	-	-	-	-
上記以外の重点項目			-	-	-	-	-
<事務所用途>			-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	3.0	-	-	-	-
<住宅用途>			-	-	-	-	-
健康と安心			-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-